スクール・パリ協定2025
COP30詳細編
非国家アクターの動向

WWFジャパン 気候・エネルギーグループ
田中　健

2025年10月28日

© WWF Japan

今日の内容

1. COP30議長国とハイレベルチャンピオンは非国家アクターをどう巻き込むのか
2. 非国家アクターはCOP30をどう盛り上げるのか
3. まとめ

今日の内容

1. COP30議長国とハイレベルチャンピオンは非国家アクターをどう巻き込むのか
2. 非国家アクターはCOP30をどう盛り上げるのか
3. まとめ

議長国が目指す非国家アクターの行動集約

COP30成功の4つの柱と行動アジェンダ

行動アジェンダとは
- 分散している非国家アクターの自主的な取り組みを集約し、加速につなげる
- 非国家アクターの行動を促進し、GST結果から明らかになったNDCのギャップを埋める

（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

行動アジェンダ：6つのテーマ軸

グローバルストックテイク結果に基づき設定

（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

6つのテーマ軸に基づく30の重点目標

アクティベーショングループ：各目標に非国家アクターイニシアティブが参加

1 エネルギー・産業・輸送の転換（p.28, 36）

1. 再生可能エネルギーを3倍にし、エネルギー効率を2倍にする
2. 排出ゼロ・低排出技術の導入をHard-to-Abate分野で加速
3. 全ての人へのエネルギーアクセスを確保
4. 公正かつ公平な方法で化石燃料からの移行を進める

2 森林・海洋・生物多様性の保全（p.33–35, 63）

5. 森林減少と森林劣化を止め、逆転させるための投資
6. 気候・生物多様性・砂漠化の解決策により自然と生態系を保護・回復する取り組み
7. 沿岸・海洋生態系を保護・回復する取り組み

3 農業と食料システムの変革（p.28, 55, 63）

8. 土地回復と持続可能な農業
9. より強靭で適応的、持続可能な食料システム
10. 誰もが公平に豊かな食料と栄養にアクセスできるようにする

4 都市・インフラ・水のレジリエンス構築（p.50, 63, 64）

11. 多層的ガバナンス
12. 持続可能で強靭な建築物と建設
13. 強靭な都市開発、モビリティ、インフラ
14. 水資源管理
15. 固形廃棄物管理

5 人間および社会開発の促進（p.63, 114, 115, 131, 140, 143）

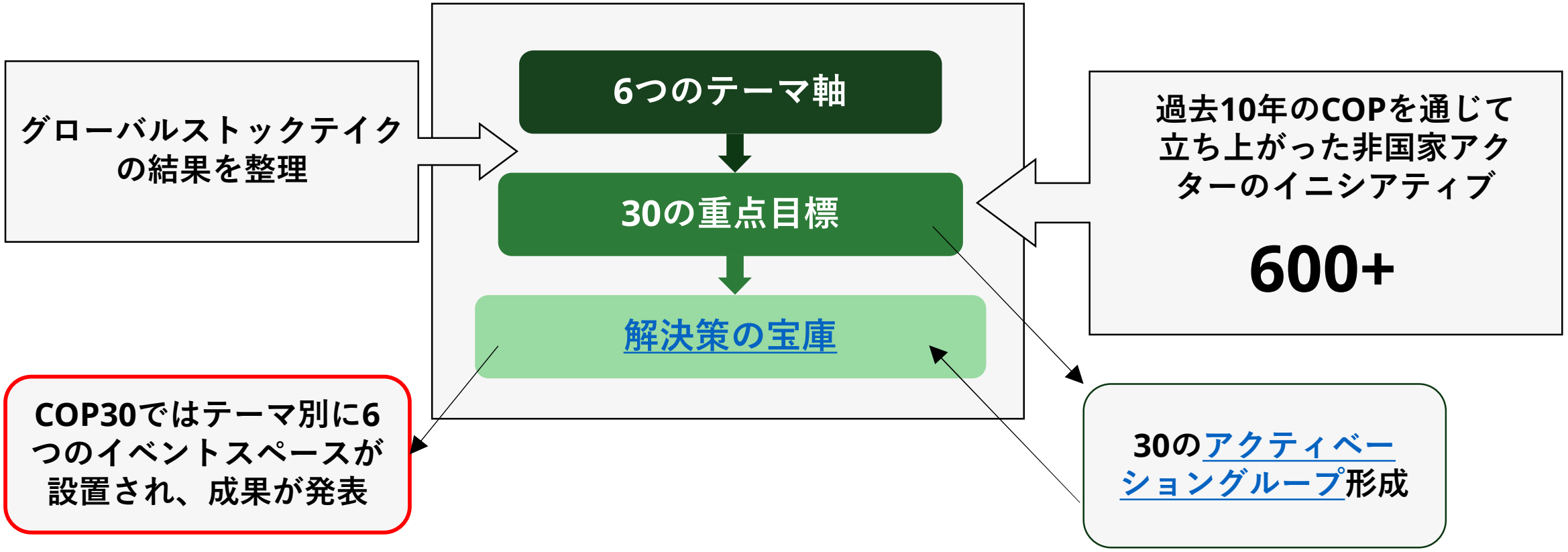
16. 強靭な保健システムの推進
17. 飢餓と貧困の撲滅における気候変動の影響を減らす
18. 教育、能力強化、雇用創出を気候変動対策と結びつける
19. 文化、文化遺産保護と気候行動

横断的要素　資金・技術・能力強化等を実現・加速する推進力の最大化（p.69, 70, 83, 90, 95, 96, 103, 107, 108, 109）

20. 気候と持続可能な金融、投資・保険における気候主流化
21. 適応のための資金調達
22. 気候統合的な公共調達
23. 炭素市場と炭素会計基準の調和
24. 気候と貿易
25. 非CO_2ガスの削減
26. 気候行動、計画、備えのためのガバナンス、国家能力、機関強化
27. 人工知能、デジタル公共インフラ、デジタル技術
28. イノベーション、気候起業家、中小企業
29. バイオエコノミーとバイオ技術
30. 気候関連情報の信頼性確保

（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

行動アジェンダの構成



（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

行動アジェンダのステップ

2028年の次期GSTに向けて継続

過去のCOPで立ち上げられた既存イニシアティブを特定し、**アクティベーショングループに招待**

→300以上の団体が参加

イニシアティブは取り組みの成果をUNFCCCシステムに報告し、**モニタリングと透明性を強化**

→NAZCA

イニシアティブと全ステークホルダーは実例を**「解決策の宝庫」プラットフォームに提供。ソーシャルメディアで発信**

→解決策の宝庫

イニシアティブは官民協働で、**解決策を加速するための自主的な計画を構築する。**

→2028年のGSTへの貢献を目指す

（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

議長国が目指す非国家アクターの巻き込み　詳細編

COP30成功の4つの柱と世界的動員

世界的動員とは
- ムチロン（困窮時には互いに自発的に支え合う、集団で協力して作業するというブラジル先住民族の概念）を気候変動対策においても世界的に広める

（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

世界的動員：リーダーシップサークル

詳細編

グローバル・ムチロンを実施するために

i. **COP議長サークル：**COP21以降の議長が集まり、パリ協定実施の加速に向けて、COP30議長国に助言

ii. **人々のサークル：**先住民族、伝統的コミュニティ、アフリカ系グループの声を増幅。COP30議長国に、伝統的知識、慣習、解決策を気候政策の議論に統合していく方法を助言。

iii. **財務大臣サークル：**財務大臣が議長、財務大臣、金融専門家、民間セクターの代表者、市民社会のリーダーを定期的に招集。気候変動対策資金に関する助言。

iv. **世界倫理ストックテイク・サークル：**環境・気候変動大臣が議長、グテーレス事務総長とルラ大統領が指導。政治、知識人、学術、文化、宗教のリーダーたちと社会のあらゆるセクターの声を結集し、地球規模の意識を高める。

（出典）COP30議長レター

世界的動員：Move Mundo

詳細編

各国リーダーへのメッセージ発信を市民に呼びかけ

1. 「COP30 における世界のリーダーたちへのメッセージは何ですか?」という質問に答える短いビデオ (最大 30 秒) を録画

2. ハッシュタグ #MoveMundo #COP30 #MutirãoMoveMundo #MutirãoCOP30 を使用してソーシャル メディアで共有

（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

COPと非国家アクターの関わり

2014 2015 2016 2017 2018 2019 2021 2022 2023 2024 2025

COP20 COP21 COP22 COP23 COP24 COP25 COP26 COP27 COP28 COP29 COP30

リマ・パリ行動アジェンダ

非国家アクターの自主的な取り組みを動員・可視化

COP25決定

COP29決定

ハイレベル気候行動チャンピオン

2025年まで延長

2030年まで延長

COP21決定で2016-2020に指名

GCAA（世界気候行動アジェンダ）

新5か年計画発表

ハイレベルチャンピオンによる非国家アクターの行動を促進するための枠組み

COP26発表

GCAA作業計画2025が進行中

相互にリンク

世界気候行動のためのマラケシュパートナーシップ

改善された世界気候行動のためのマラケシュパートナーシップ（2021-2025）

形を変えて継続?

GCAAの一部であり、戦略的な推進を担う実行部隊（UNFCCCを事務局とし国際団体等が参加）

出典：UNFCCC、Race To Zero等のウェブサイトを基にWWFジャパン作成

GCAAの新5か年計画の意義

詳細編

下記を実現するため、非国家アクターの取り組みを発展させる

- **グローバルストックテイク成果の実施**（COP28 1/CMA.5）
  - 2030年までに世界の再生可能エネルギー容量を3倍、エネルギー効率改善率を2倍
  - 2050年までのネットゼロ達成のために化石燃料から転換し、この10年間に行動を加速
  - 2030年までに森林破壊や劣化を止め、回復させる

- NDC（**国別貢献**）やNAP（**国別適応計画**）の実施

⬇

COP30議長国が掲げる6つのテーマ、30の主要な目標の実現にも貢献する

出典：Feedback to the Climate High-Level Champions and the Marrakech Partnership on the five-year vision and plan for the Global Climate Action Agenda

UNFCCCによる公開コンサルテーション

詳細編

締約国（締約国グループ）・非国家アクターから67件の意見が提出

❶ GCAA成功とは何か？

- GST・パリ協定と整合し、誓約より成果
- 適応・資金動員の強化

❷ 締約国と非国家アクターの連携をどう深めるか？

- 非国家アクターの貢献の可視化と追跡
- セクター別対話の拡充

❸ インクルーシブで公平な連携を推進するには？

- 途上国・脆弱グループへの資金・能力支援
- 参加形式を柔軟化し、意思決定への参画機会を増やす

❹ 透明性・報告・フォローアップを改善するには？

- 報告の標準化、プラットフォーム改善、進捗可視化
- 政策へのフィードバック強化

AMERICA IS ALL IN

America Is All In Response to High-Level Champions Call to Comment: Proposed Action Agenda Work Programme

America Is All Inの意見を一部抜粋

1. **非連邦政府主体の多様な関係者の包摂性を確保すること**

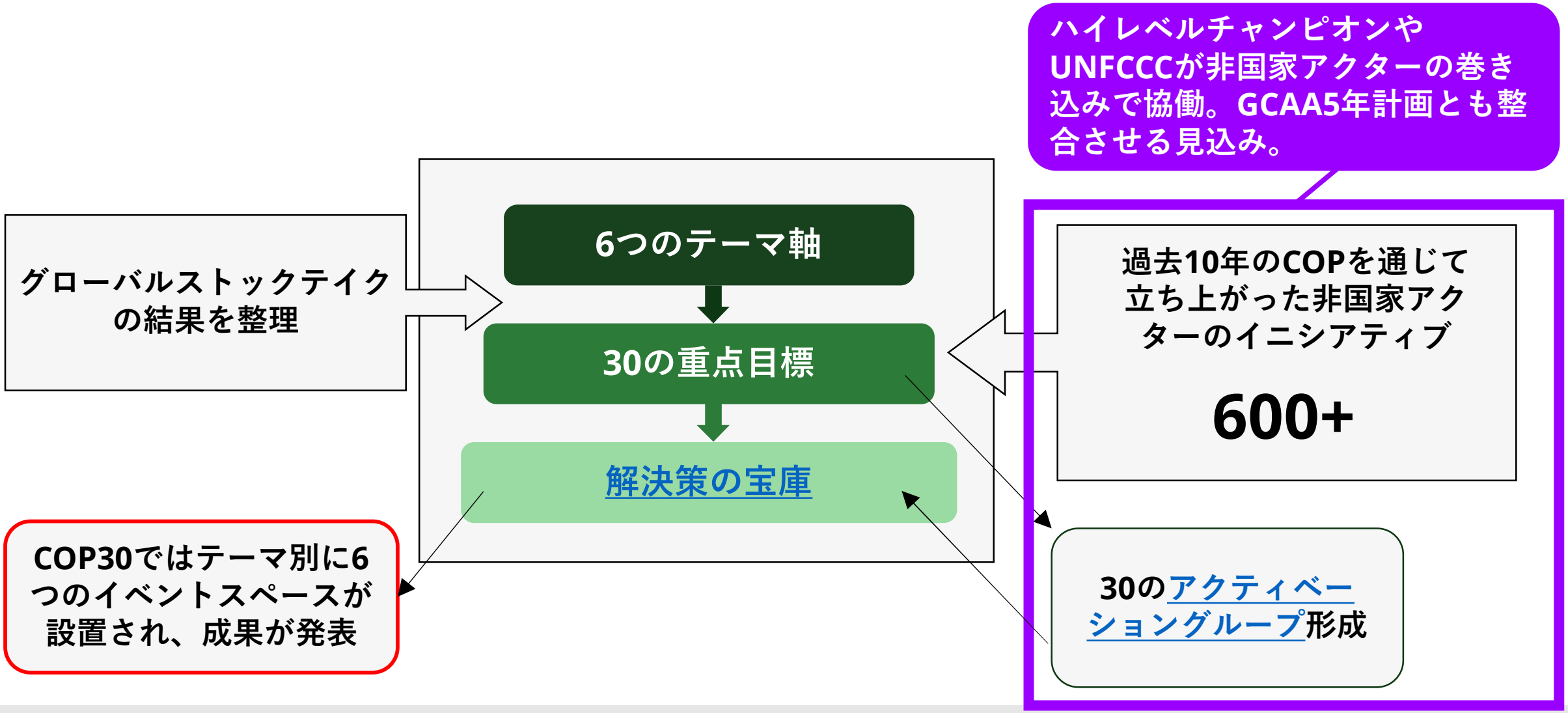
GCAAは、多様な視点と経験を取り入れるために、**各国において政府と直接協働関係にない非国家アクターも含め、**非国家アクターが広くアクセスできる構造であるべきです。

地域別または分野別のグループを通じて、さまざまなタイプ・レベルの主体が直接関与できる場を優先的に設けることに価値があると考えます。

出典：Feedback to the Climate High-Level Champions and the Marrakech Partnership on the five-year vision and plan for the Global Climate Action Agenda

行動アジェンダの構成

詳細編



（出典）COP30議長国資料からWWFジャパン作成

今日の内容

1. COP30議長国とハイレベルチャンピオンは非国家アクターをどう巻き込むのか
2. 非国家アクターはCOP30をどう盛り上げるのか
3. まとめ

COP30 テーマと議長国がかかわる主要イベント

11月3日 (月)	11月4日 (火)	11月5日 (水)	11月6日 (木)	11月7日 (金)	11月8日 (土)
★COP30 ローカルリーダーズフォーラム（リオ） ★COP30 ビジネスとファイナンスフォーラム（サンパウロ）			リーダーズサミット		

11月10日 (月)	11月11日 (火)	11月12日 (水)	11月13日 (木)	11月14日 (金)	11月15日 (土)
適応/都市/インフラ/水/廃棄物/地方自治体/バイオエコノミー/循環型経済/観光		健康/雇用/教育/文化/正義と人権/情報の完全性/世界的な倫理的評価/労働者		エネルギー/産業/運輸/貿易/金融/炭素市場/CO2以外のガス	

11月17日 (月)	11月18日 (火)	11月19日 (水)	11月20日 (木)	11月21日 (金)	
森林／海洋／生物多様性／中小企業／先住民／地域コミュニティと伝統コミュニティ／子どもと若者		農業／食料システムと食料安全保障／漁業／家族農業／女性と女児／ジェンダー／アフリカ系アメリカ人の子孫／科学技術／人工知能 ★世界気候行動ハイレベルイベント (11/19)		最終交渉	★非国家アクター関連

出典：COP30、Bloomberg Philanthropiesのウェブサイトを基にWWFジャパン作成

COP30 ブルーゾーン・グリーンゾーン

詳細編

出典：[COP30議長国ウェブサイト資料]

COP30開始前から国際注目を集める動き

詳細編

イベント名	開催日/場所	主催	主な参加者
COP30 Local Leaders Forum	11/3-11/5 **リオデジャネイロ**	Bloomberg Philanthropies COP30**議長国**	都市・地方自治体のリーダー
COP30 Business and Finance Forum	11/3-11/5 **サンパウロ**	Bloomberg Philanthropies	企業、金融機関
Climate Action Innovation Zone	11/6-11/8 **サンパウロ**	Climate Action	**以下3つのフォーラム、サミットに、企業、金融機関、慈善団体、その他の非国家アクターを多数集めて、非国家アクターの取り組みを結集**
Sustainable Innovation Forum	11/6-11/7 **サンパウロ**		
Agri-Food Systems Summit	11/7 **サンパウロ**		
Climate Implementation Summit	11/8 **サンパウロ**		

※いずれも現時点の情報に基づき独自にまとめたもの。詳細はリンク先をご確認ください。

COP30期間中@ベレン

詳細編

イベント・パビリオン名	開催日/場所	主催	主な参加者（想定）
Global Climate Action at COP30	11/10-期間中 ブルーゾーン	High Level Champions UNFCCC	High Level Champions, UNFCCC, COP30議長国, あらゆる非国家アクター
Action Agenda and COP30 Presidency Events	11/10-期間中 ブルーゾーン	COP30議長国、アクティベーショングループ等	ブラジル政府、アクティベーショングループ参加イニシアティブ
America Is All In	11/10-期間中 ブルーゾーン?	America Is All In	米国企業、州などのリーダー
Business Pavilion	11/10-期間中 ブルーゾーン	We Mean Business Coalition	企業中心
WWF Pavilion	11/10-期間中 ブルーゾーン	WWF	企業、都市、市民団体など
Climate Action House	11/10-11/14 COP30会場外	Climate Action	企業、Climate Actionパートナー団体関係者など

※いずれも現時点の情報に基づき独自にまとめたもの。詳細はリンク先をご確認ください。

アメリカの非国家アクターにも注目

詳細編

米国の企業、州・都市

AMERICA IS ALL IN

50州、人口の63%、GDPの74%

Ceres

投資家、企業、政策ネットワークに多数の米国企業が参加

UNITED STATES CLIMATE ALLIANCE

24州知事、人口の54%、アメリカ経済の57%

CLIMATE MAYORS

46州、6千万の人口を代表する350近い都市

出典：People's Summit Towards COP30 https://cupuladospovoscop30.org/en/home/

People’s Summit / Global Day of Action 詳細編

11月15日に大規模な行進

PROGRAM:

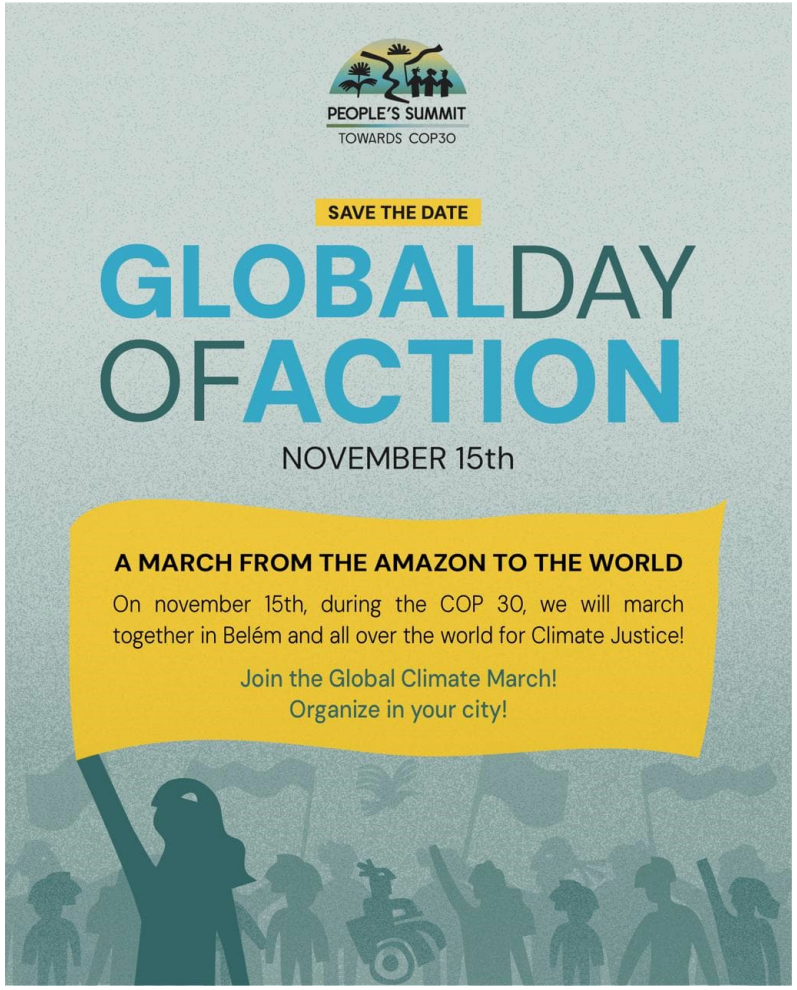
+ 12 Nov
+ 13 Nov
+ 14 Nov
− 15 Nov

MORNING:
- Unified March of the Global Day of Action for Climate Justice;
- Press conference;

AFTERNOON:
- Interconnected activities;

EVENING:
- Cultural festival;
- Solidarity economy fair;
- Information sessions on the decisions of the Summit and the COP;

+ 16 Nov



出典：People’s Summit Towards COP30 https://cupuladospovoscop30.org/en/home/

世界経済フォーラム CEO気候リーダーズ同盟

詳細編

130以上の企業CEOによる同盟が世界の企業や政府に向けた公開書簡

気候経済は成果を上げている

逆風にもかかわらず、収益・レジリエンス・成長を牽引

政策決定者への要請

- 安定した政策環境の整備
- 民間投資のリスク軽減
  革新技術への資金・インセンティブ倍増
- 化石燃料からの公正な移行
- 再エネ許認可の迅速化
- 自然への投資と政策促進
- 気候レジリエントな経済と食糧システムの構築

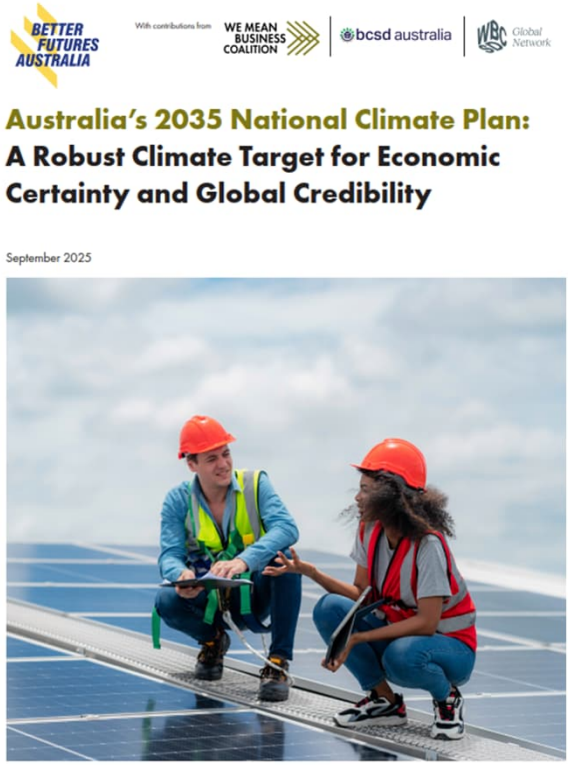
企業リーダーへの要請

- Scope 1・2排出削減目標設定と達成
- 業界全体での脱炭素化（Scope3削減）
- エネルギー効率化によるコスト・排出削減
- イノベーションとデジタル活用
- 需要シグナル創出の連携
- 気候適応とレジリエンスへの投資

We Mean Business Coalition | Country Reports

詳細編

各国NDCの策定、その実施に向けた企業視点からの政策提言



出典：BUSINESS CALL TO ACTION FOR AMBITIOUS AND INVESTIBLE NDCS

今日の内容

1. COP30議長国とハイレベルチャンピオンは非国家アクターをどう巻き込むのか
2. 非国家アクターはCOP30をどう盛り上げるのか
3. まとめ

まとめ｜COP30非国家アクターのポイント

詳細編

- 非国家アクターはグローバルストックテイクの成果を実施するための重要な役割として期待。
- 議長国ブラジル、ハイレベルチャンピオン、UNFCCCが整合的に協働。その成果はどう出るか。
- 新たなイニシアティブの立上げではなく、すでにある取り組みがどう集約され、成果として現れるか。
- こうした機運を盛り上げるべく、世界中の非国家アクターが、COP30開催前から期間中にかけて、無数のセッション、議論を繰り広げる。
- アメリカの非国家アクター（特に企業や州政府）が連邦政府に代わりどうふるまうか。
- ブラジルの先住民族を含む市民たちの活動も大きく繰り広げられる見込み。

お知らせ

日時：2025年11月7日（金） 14:00 ～ 18:00
場所：イイノホールまたはオンライン
主催：気候変動イニシアティブ（JCI）
詳細：https://japanclimate.org/news-topics/jcas2025/

together possible™

Working to sustain the natural world for the benefit of people and wildlife.

together possible™ panda.org

WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF. All rights reserved.

WWF, 28 rue Mauverney, 1196 Gland, Switzerland. Tel. +41 22 364 9111

CH-550.0.128.920-7